

世界遺産ガイドブックの新シリーズ

について



08.03.16

世界遺産としてユネスコに分類されたモニュメントや遺跡を訪れる旅行プランを奨励するために、Turismo de Portugal（ポルトガル政府観光局）によるイニシアチブの一部として、「世界遺産ガイドブック」の3番目のシリーズが発売されました。この新しいシリーズでは、リスボン、シントラ、エヴォラ、エルヴァスに焦点を当てています。

一つはリスボン、一つはシントラ、一つはエヴォラとエルヴァスに関する3つのガイドで構成されています。このガイドは、4つの世界遺産の遺跡のそれぞれに異なるテーマを持つ旅行プランを推奨しています。リスボンでは、ジョロニモス修道院とベレンの塔が市最大の遺跡で、シントラの文化的景観においては建築物と自然遺産の間で達成された完璧な調和を示すことが目的であり、エヴォラでは市中心部への観光が考慮され、エルヴァスでは、観光客はポルトガルとスペインの国境における兵舎の歴史について学びます。

ガイドはポルトガル語、フランス語、英語が用意されており、書店、分類されたモニュメント、出版社のPorto Editoraから購入できます。iOSおよびAndroid向けの無料アプリも用意されていますが、これはJiTTTravel (<https://jitt.travel/portugalworldheritage>)で入手可能です。シントラを特集した最初の旅行プランはすでにダウンロード可能で、他の遺跡に関連するプランは来週以降順次ダウンロードできるようになります。

「世界遺産ツアーガイド」の最初の2つのシリーズはもっぱらバターリャとアルコバサ、トマールの女子修道会を特集した「ポルトガルの心臓部」（第1シリーズ）、およびギマランイスとポルトの歴史的中心部、アウト・ドウロワイン生産地域、コア溪谷の先史時代の壁画遺跡への観光を勧める「ポルトガルの北部」（第2シリーズ）に向けられました。

Visitportugal Webサイトの「...をお探しですか?」 / 「パンフレット、地図、ビデオ」でガイドブックのパンフレットをご覧になることができます。